歯ろはろ～新聞

発行/ 多田歯科医院　　高松市木太町７９２－６　☎８１５－２０１０
ホームページ　http://www.tadashika.jp/

いよいよ夏本番ですね！山だ！海だ！バーベキューだ！と、どこに行こうか考えるだけでワクワクしてきますね！　さて、７月１日といえば、今年“世界遺産”の登録が決定し、改めて注目されている「富士山」の山開きでもあります。　富士山に一般の人が登れるのは、７・８月の２カ月間だけですが、毎年３０万人もの人が登山を楽しんでいるそうです。　一番人気の登山ルートは“山梨側”からで、このルートは山小屋が多いため休憩の計画が立てやすく、さらに五合目までは車で行けるため、初めて富士登山をする人にはお勧めなんだそうです。　そうはいっても標高３７７６mの日本一高い山ですから、登るとしてもなかなか思い切れませんよね（苦笑）　もちろん、富士山の楽しみ方は登山だけではないのです。　例えば、富士山頂から太陽が昇る瞬間と、夕日が沈む瞬間に、まるでダイヤモンドが輝くような“ダイヤモンド富士”と呼ばれる現象が、千葉・東京・神奈川の多くの地点で年に数回見ることができるそうです。　また、富士五湖（山梨県）、田貫湖（静岡県）、芦ノ湖（神奈川県）の湖面に富士山がきれいに映る“逆さ富士”も有名ですよね。それにしても、「富士山」はどうしてこんなにも日本人にとって“特別な山”なのでしょう？　古くから銭湯の壁には必ず富士山が描かれていましたし、また、浮世絵などの日本文化を代表する作品にも、よく登場していますよね。　もちろん、現代でもそれは同じで、例えば、東海道新幹線は富士山が見える“窓側の席”が人気のようです。　時代は変われど、富士の豊かな自然、美しい景観があるからこそ、日本文化が育まれてきたということなのでしょう。　今回、富士山の世界遺産登録が、自然遺産ではなく、「文化遺産」としてその価値を認められたのも納得できますよね。　今年の夏は、富士山の挿絵が入った「暑中見舞い」を送ってみるのもよいかもしれませんね。

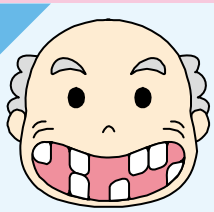
あなたも“歯科通”になれる…!? 歯医者が出題する “歯とお口”のクイズ

大人の歯である「永久歯（えいきゅうし）」は、全部で“２８本（親知らずを含めると３２本）”生えていますが、年齢が進むにつれ、むし歯や歯周病（しゅうびょう）などが原因となり、この大切な歯が失われてしまう場合もあります。できれば、ずっと自分の歯で美味しく食事をいただきたいものですよね！　さて、ここでこんな問題を出題！

Q. 日本人は“８０歳”になった時、平均何本自分の歯が残っているでしょう？

1

２１本

2

１０本

3

１７本